

朝霞駅周辺エリア 官民連携まちなか再生推進事業

## エリアビジョン (ベータ版)



あさかエリアデザイン会議

2024年3月 時点版

01 はじめに～朝霞で描く未来～	2
～あさかエリアデザイン会議とは～	3
02 エリアの現況分析	
エリア全体現況分析	5
朝霞駅南口駅前広場現況分析	6
朝霞駅南口駅前通り現況分析	7
駅西口富士見通線現況分析	9
市役所前広場(花の池テラス)現況分析	10
市道1000号線現況分析	11
シンボルロード現況分析	12
基地跡地周辺現況分析	13
03 エリアの目指す将来像	
目指す将来像に向けた8つの観点との連携	15
エリアビジョンのコンセプトとキーワード	16
1. 朝霞駅南口駅前広場【Entrance 玄関】	18
2. 朝霞駅南口駅前通り【EN-GAWA 縁側】	21
3. 駅西口富士見通線【Living 居間】	24
4. 市役所前広場(花の池テラス)【Lounge 応接間】	26
5. 市道1000号線【Dining 食堂】	28
6. シンボルロード【Terrace テラス】	30
7. 基地跡地周辺(青葉台公園・あさかの森)【Garden 庭】【KidsRoom 子供部屋】	33
04 目指す将来像を実現させるための施策	
目指す将来像の実現に向けた取り組み	35
【ASAKA STREET TERRACE プロジェクト】	36
【あさかのつかいかたガイドブック作成運用プロジェクト】	37
【あさかのアート・ミュージックプロジェクト】	38
【あさかのグッズ作成プロジェクト】	39
【商店会にぎわいプロジェクト】	40
【店舗リノベーションプロジェクト】	41
【ストリートファニチャー設置プロジェクト】	42
【人中心のみちづくりプロジェクト】	45
05 将来像に向けた事業のロードマップ	
将来像に向けた事業のロードマップ	47



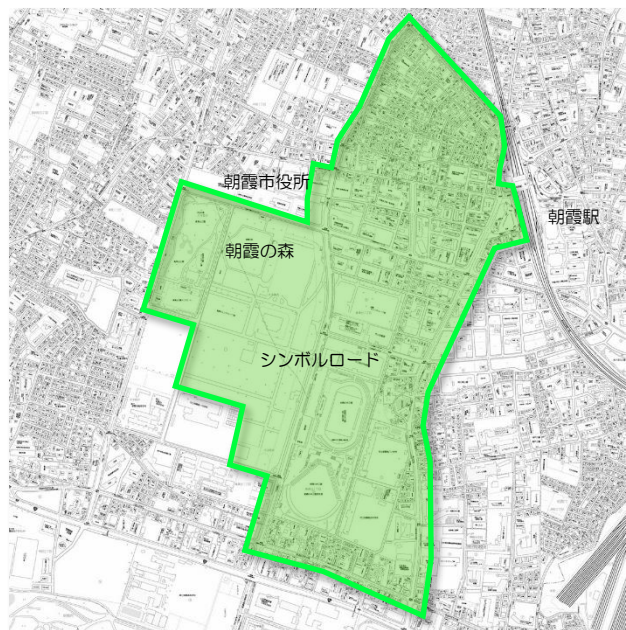
# 01 はじめに ～朝霞で描く未来～

駅前から商店街の賑わいを抜け、まちなかに進んでいくと、その先に広がる武蔵野のみどり。

住宅街と商店街、シンボルとなるみどりが程良く肩を並べているまち、朝霞。

そんな朝霞のまちで、住んでいる人も訪れる人も、誰もが『居心地が良く、歩きたくなるまち』と、『人でにぎわう魅力的な商業エリア』の創出を目指して、**官民連携による公園や街路空間の活用を軸に**、朝霞だからこそ実現できる朝霞ならではの未来（＝**エリアビジョン**）を皆さんと共に描きます。

## <エリアビジョンの対象とするエリアと特徴>



### 【エリアの強み】

- ・市役所、公民館、図書館、都市公園、学校など公共施設が集中しており、日々多くの人の往来や滞留がある。
- ・公共交通網が整備されている。
- ・朝霞駅南口は近年高層マンションの建設が続いており、定住人口が多く、賑わいのポテンシャルに優れる。
- ・令和2年2月に完成した市役所横のシンボルロードなどのウォークアブル空間がある。
- ・シンボルロード西側の基地跡地については、都市公園等の地区施設の整備を実施していく予定（都市計画法に基づく地区計画策定済）。
- ・土地区画整理事業の実施により、駅前広場など都市基盤が整備されている。
- ・シンボルロード周辺が朝霞市景観計画に基づく「景観づくり重点地区」に指定されており、良好な景観形成の枠組みがある。
- ・官民連携エリアプラットフォーム「あさかエリアデザイン会議」が発足し、エリアビジョンの実現に向けて、様々な施策を実施している

### 【エリアの弱み】

- ・道路の幅員が狭く、歩道が設置されていない箇所もあり、安全な歩行者空間の確保が求められている。特に、駅前通り及び周辺道路については、車の往来が多く、歩行者中心のまちなかとは言い難い状況である。
- ・駅周辺の商店街は、古からの商店が散在しており、空き店舗が増加するなど、賑わいの観点で課題がある。
- ・駅前広場や駅前通りなどは緑が少ないため、魅力的な緑空間の創出による交流拠点づくりなど、緑の多面的機能を活用するグリーンインフラの充実が求められている。



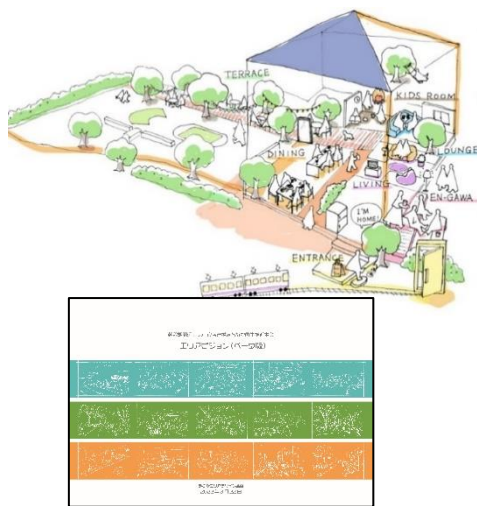
# 01 はじめに ～あさかエリアデザイン会議とは～

朝霞駅南口周辺において、『居心地が良く、歩きたくなるまち』と、『人でにぎわう魅力的な商業エリア』の創出を目指して、公園や街路空間など公共空間の活用を軸に、**官民の多様なメンバーが連携して取り組むために、令和4年4月に地域団体、まちづくりに取り組む方々、学識経験者、朝霞市などで構成される官民連携組織（エリアプラットフォーム）『あさかエリアデザイン会議』を発足しました。**

## 【主な取り組み】

### 未来ビジョンの策定

朝霞駅周辺エリアの「こうなったらいいな」という将来像を描いた未来ビジョンを検討しています



### あさかミーティングの開催

「あさかでたのしいコトやりたい！」を応援するため、トークライブ&フリートークの場「あさかミーティング」



### ウォークアブルなみちづくり

駅前通りや駅西口富士見通線などの朝霞駅南口周辺エリアで「人中心のみち」の実現に取り組んでいます



### 公共空間活用の実証実験

2020年より始まり、秋の一大イベントとなった『ASAKA STREET TERRACE』を始め、公共空間の魅力を引き出し、まちなかに賑わいをもたらす取組を行っています



## 【もっと知りたい方は・・・】

あさかエリアデザイン会議の活動についてはあさかエリアデザイン会議のHP・Instagram・アサカストリートテラスのLINE、また朝霞市都市建設部のインスタ・HPでご紹介しています。

あさかエリアデザイン会議

HP



Instagram



LINE (AST)



朝霞市都市建設部

Instagram

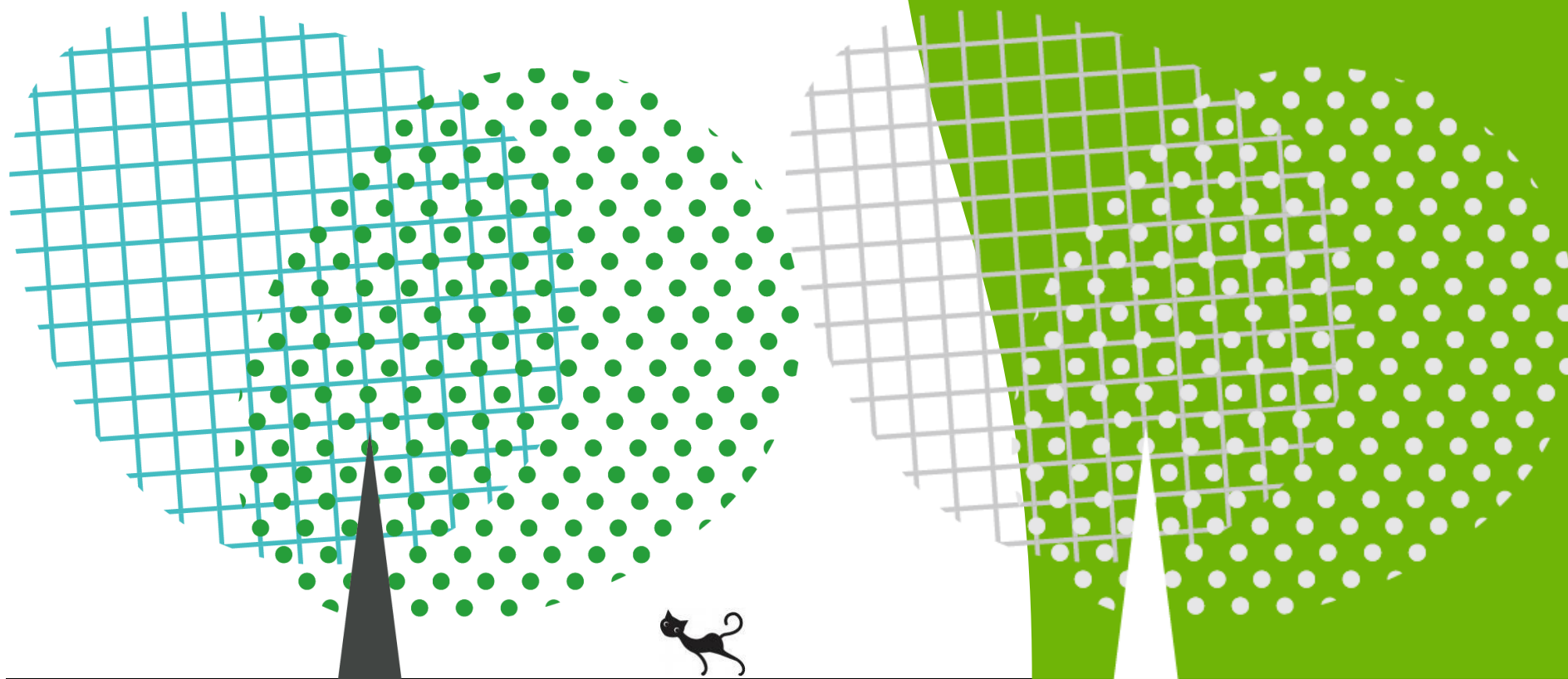


HP



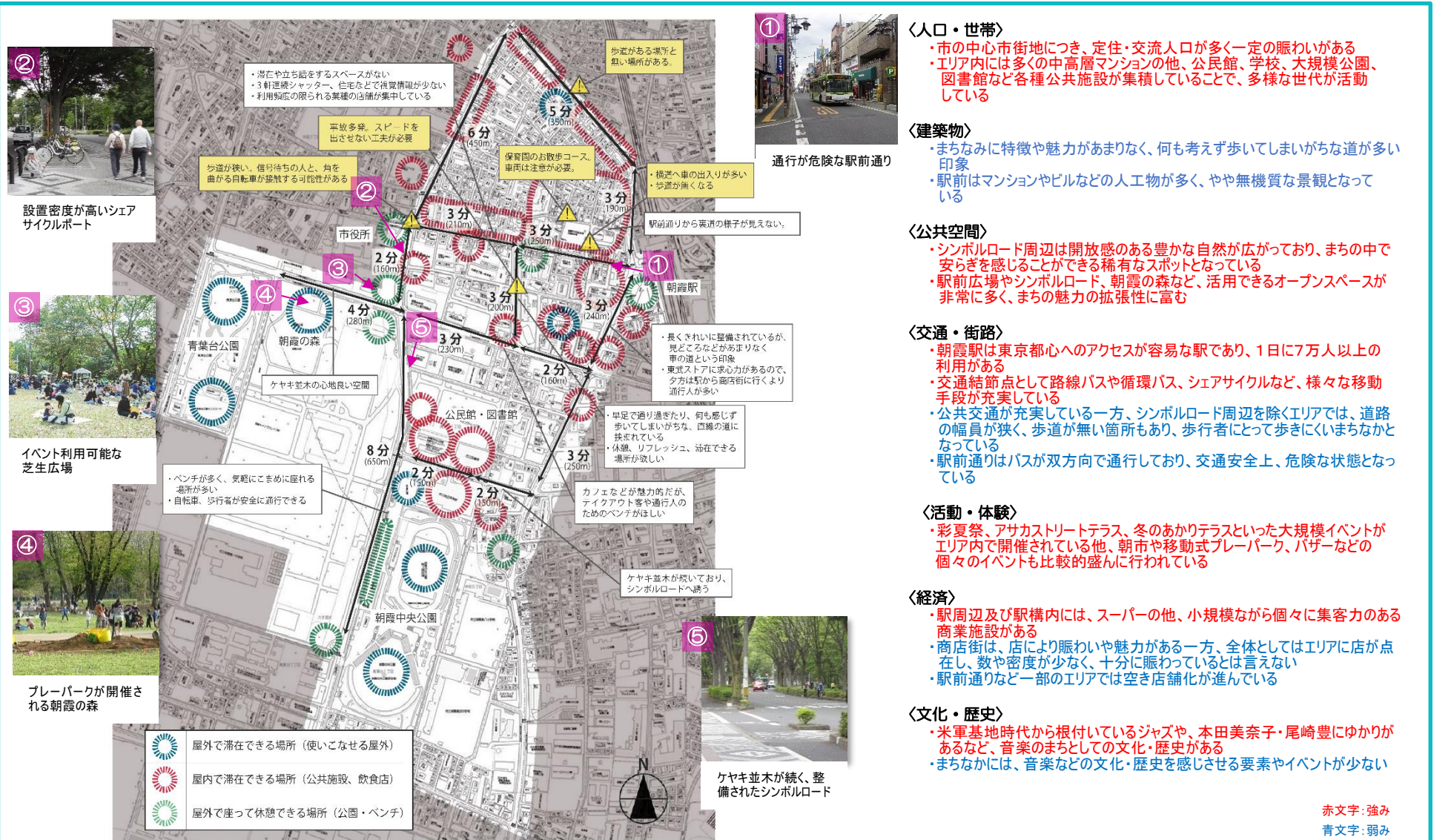


## 02 エリアの現況分析



# 【エリア全体】 現況分析

- ・自転車、自動車、バス等まちなかを巡る様々な交通手段が選択できるよう整備されている。
- ・人々が滞在できる空間の周辺にもそれらの施設があり、計画エリア全体に人々の滞在が期待できる。



## ＜人口・世帯＞

- ・市の中心市街地につき、定住・交流人口が多く一定の賑わいがある
- ・エリアには多くの中高層マンションの他、公民館、学校、大規模公園、図書館など各種公共施設が集積していることで、多様な世代が活動している

## ＜建築物＞

- ・まちなみに特徴や魅力があまりなく、何も考えず歩いてしまいがちな道が多い印象
- ・駅前にはマンションやビルなどの人工物が多く、やや無機質な景観となっている

## ＜公共空間＞

- ・シンボルロード周辺は開放感のある豊かな自然が広がっており、まちの中で安らぎを感じることができる稀有なスポットとなっている
- ・駅前広場やシンボルロード、朝霞の森など、活用できるオープンスペースが非常に多く、まちの魅力の拡張性に富む

## ＜交通・街路＞

- ・朝霞駅は東京都心へのアクセスが容易な駅であり、1日に7万人以上の利用がある
- ・交通結節点として路線バスや循環バス、シェアサイクルなど、様々な移動手段が充実している
- ・公共交通が充実している一方、シンボルロード周辺を除くエリアでは、道路の幅員が狭く、歩道が無い箇所もあり、歩行者にとって歩きにくいまちなかとなっている
- ・駅前通りはバスが双方向で通行しており、交通安全上、危険な状態となっている

## ＜活動・体験＞

- ・彩夏祭、アサカストリートテラス、冬のあかりテラスといった大規模イベントがエリア内で開催されている他、朝市や移動式プレーパーク、パザーなどの個々のイベントも比較的盛んに行われている

## ＜経済＞

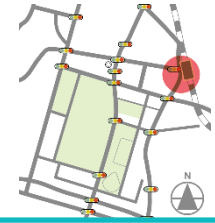
- ・駅周辺及び駅構内には、スーパーの他、小規模ながら個々に集客力のある商業施設がある
- ・商店街は、店により賑わいや魅力がある一方、全体としてはエリアに店が点在し、数や密度が少なく、十分に賑わっているとは言えない
- ・駅前通りなど一部のエリアでは空き店舗化が進んでいる

## ＜文化・歴史＞

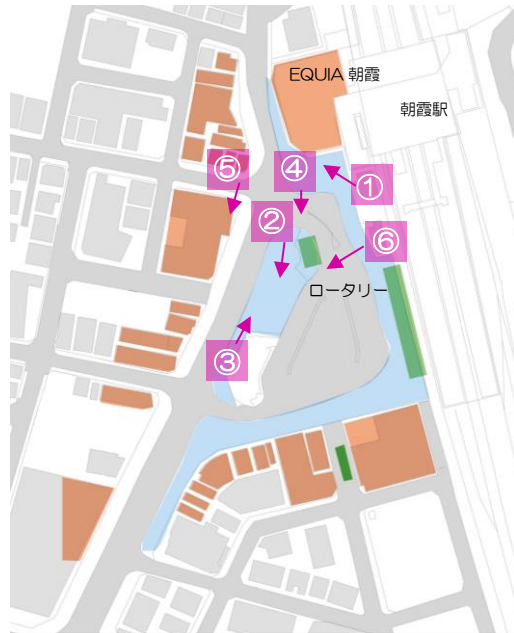
- ・米軍基地時代から根付いているジャズや、本田美奈子・尾崎豊にゆかりがあるなど、音楽のまちとしての文化・歴史がある
- ・まちなかには、音楽などの文化・歴史を感じさせる要素やイベントが少ない



# 【朝霞駅南口駅前広場】現況分析



- ・日々多くの人々が行き交う駅前は、広々とした広場によって余裕のある空間が確保されている一方で、普段は閑散としている。
- ・「あさからしさ」を組み込むことで、駅前から魅力を街中に広げることが期待できる。



■ 商業・飲食  
■ 広場  
■ 緑地



① 駅直結の商業施設はテナントごとに賑わいがあり、一階店舗は屋外に向けた明るく開放的な設えとなっている



② 各種イベント時には利用される  
駅前広場は広いスペースがあるが、普段の使い道が不明で、利用者が少なく、閑散とした印象を受ける



③ ベンチ、花壇が整備されているが、憩いの場としての彩りや装飾が少なく、活用されていない



④ 通勤・通学の時間帯は、多くの駅を利用する人々で賑わう  
駅と広場がスクランブル交差点で分断されており、一体感がないので、広場へ渡る人は少ない



⑤ カフェにテラス席が設置されており、小規模ながら開放的な空間となっている。  
⑥ 歩道は店舗の看板等が多く置かれ、活気がある一方で煩雑な雰囲気となっている  
⑦ 一部の看板は歩行や滞留の妨げとなっている



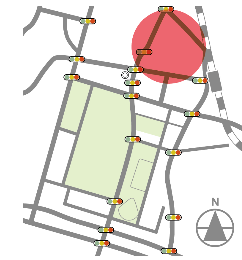
⑧ ロータリーは空間や幅員に余裕があり、車の利便性は良いが、その分人が利用できる歩道や広場は狭い。  
⑨ 志木駅、大泉学園駅、254号線付近、新座方面など、各方面への路線バスが発着し、交通結節点として利用客が多い  
⑩ 全体的に憩いとなる緑が少ない

未来に向けて

赤文字: 強み  
青文字: 弱み

人びとを出迎え、送り出す、おもてなしの玄関口へ →P.18

# 【朝霞駅南口駅前通り及び周辺道路】現況分析



## 《朝霞駅南口駅前通り》

- 人々の生活に密着した商店が多いことから、交通安全対策や美装化など、通りを歩く人が安全で魅力を感じるような道づくりを行うことで、更なる賑わいが期待できる。



- アサカストリートテラスなどのイベント時には歩行者天国となり、多くの店舗が路上出店し、人々で賑わう



- 銀行やスーパーなど、様々な物販・飲食・サービス店が立地しており、一部店舗は常に人で賑わっている
- 店舗前に広い滞留空間があるところもあり、テラス営業など屋外への展開も望めるが、現状では違法駐輪対策等の事情から十分には活用されていない



- 通りに緑がほとんどなく、ベンチなど買い物の途中で一休みできる場所も少ない
- 各店舗がそれぞれ看板を掲出しており、賑やかである一方、景観としての統一感や洗練性はない



- 通勤、通学の時間帯は学生を含め多くの人が通りを利用し、混雑する
- 歩行空間が狭く、側溝の蓋の上を歩かざるを得ない上、電柱などの障害物も多く、歩きにくい
- 歩車道が一体となっている中を、バスが双方で通行しており、安全な歩行者空間が確保されていない
- ウォークアブルの点で駅前広場からの魅力の連続性にやや欠ける



- シャッターが閉まっている店舗が点在しており、通りにそれを補完するような設え、デザインもなく、閑散とした印象がある

未来に向けて

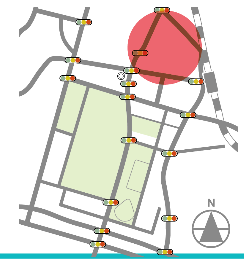
交通を整理し、歩く人を大切にするみちへ →P.21

赤文字: 強み  
青文字: 弱み



## 《朝霞駅南口周辺道路（市道1号線・5号線等）》

- ・歩行者空間が確保されていない箇所があり、車、自転車、歩行者の通行が錯綜している。
- ・駅前通り等と一体となった交通安全対策や道路環境整備を通じて、歩きやすい道への転換が期待できる。



- ・通勤、通学の時間帯は学生を含め多くの人が通りを利用し、混雑する
- ・歩行空間が狭く、電柱などの障害物も多く、歩きにくい
- ・歩車道が分離されていない中を、車や自転車が双方向で通行しており、安全な歩行者空間が確保されていないことに加え、道全体が暗い
- ・ベンチ等の休める場所がない

・歩行者交通量が多く、魅力的な店舗が点在するなど賑わい創出のポテンシャルがある

- ・道路幅が狭く、安全な歩行空間が確保されてないことに加え、道全体が暗い
- ・交差点の見通しが悪く、交通安全上の課題がある
- ・住宅と店舗が混在しており、景観としての統一感欠ける
- ・朝夕の通勤、通学の時間帯は多くの人が通りを利用し、混雑する

・多くの人が通行し、店舗を利用する人で賑わう

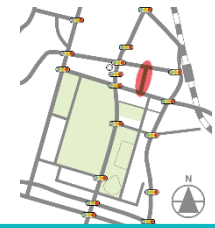
未来に向けて

交通を整理し、歩く人を大切にするみちへ →P.23

赤文字：強み  
青文字：弱み

# 【駅西口富士見通線】現況分析

- ・朝霞駅から至近にあり、歩道、車道ともに十分な幅員が確保されている道路。
- ・車歩道をそれぞれ再配分し、整備することで、駅前広場・駅前通り・市道1000号線とつながる、安心安全で新たな魅力を持つ空間への転換が期待できる。

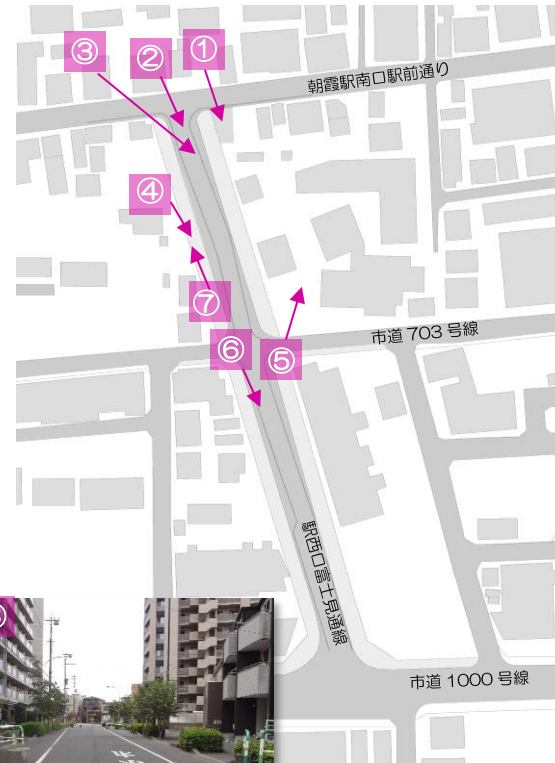


・小規模ながら商店街の中の貴重な休憩スペースとなっているが、中央のスペースは現状十分に活用されていない

・黒板は、アーティストや学生等の黒板アート制作・披露の場となっており、賑わいが創出されている。

・広幅員道路で、空間再配分により多様なニーズに応える道路空間の実現が期待できる。

- ・駅前通りと市道1000号線を結ぶ道路で、ゆとりのある空間が確保されているにも関わらず、現状、車両及び歩行者の往来がかなり少なく、有効活用されていない(車道:約9m 歩道:約4.5m)
- ・交通安全対策用に設置された車止めが目立ち、閑散とした印象がある
- ・市道703号線との交差点では事故が多発しており、交通安全上の課題がある



・公共空地として未整備・未活用であり、今後、役割の付加や利活用が課題



・植栽帯や花壇があるが、それらの総量に対して空間が広く、他に美装化等の装飾も施されていないため、彩りが物足りない印象となっている。

未来に向けて

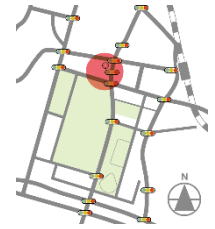
ゆとりの空間を活かして特色あるみちへ →P.24

赤文字:強み  
青文字:弱み



## 【市役所前広場（花の池テラス）】現況分析

- ・駅前通りとシンボルロードをつなぐ都会的な空間と自然の結節点として、人々が心地よくくつろげる空間となっている。
- ・市のシンボルのケヤキをランドマークとして、清涼感と生物多様性に富む水景や、空間に潤いを与える緑、休息のためのベンチなど、多世代が水辺の花と緑を楽しみながら憩える要素が充実している。



・ケヤキがシンボルロードの「はじまりのケヤキ」として市の景観重要樹木に指定されており、ランドマークとなっている



・広場が道路からセットバックしているため、ゆとりと広がりのある歩行空間が確保されており、見通しのよい交差点となっている



・駅前通りとシンボルロードをつなぐ結節点として、水と緑と花が調和した、上質な空間が広がっている

・池では水生昆虫（トンボ）、水鳥などの生物が来訪するなど、生物多様性に富み、広場の景観に彩りを与えている

・各種グリーンインフラが整備され、みどりに親しみながら四季の移ろいを感じることができる



・広場は、日頃から多様な世代の人々が滞留できる憩いの場として使われている

・保育園児の散歩コースに含まれ、子供にも親しまれている

・夜には広場全体がライトアップされ、昼とは異なるモダンで落ち着いた雰囲気となる

・夏の日中は緑陰が少ない



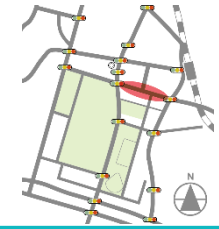
未来に向けて

まちの顔として、朝霞の未来を象徴する広場へ →P.26

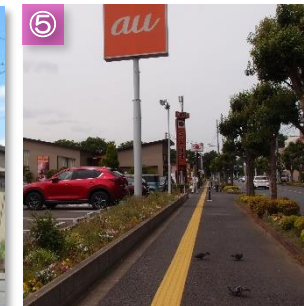
赤文字:強み  
青文字:弱み

# 【市道 1000 号線】 現況分析

- 沿線には広い駐車場がある飲食店などが立地している。
- 歩道と店舗の境界等を整備することで、店舗前を歩行者に優しい空間とすることが期待できる。



- 店舗側にも植栽地が整備され、手入れがされている
- 住宅ゾーンの歩道は、一部区間ながら街路樹とマンション敷地内の緑地により歩道の両側に緑が充実し、心地よい緑陰空間となっている
- 一部の飲食店にはテラス席など開放的な空間がある一方で、前面の大通り



- 沿道にはカフェやファミリーレストラン等の飲食店が立地している
- 各店舗に広い駐車場があり、車の利便性は良いが、その分テラス席など人のためのスペースは少ない印象
- 車道と歩道が分離されており、安全な歩行空間が確保されている
- 歩道に接近して駐車場や大形看板があり、歩行者にとって、やや圧迫感がある

- 歩道に面した部分の植栽のボリュームが少ない
- 商業ゾーンの歩道にも街路樹はあるが、駐車場側に高木が少ないため、緑陰が生まれていない
- 車道幅員が広く、道路両サイドの歩道が分断され、一体性は感じられない

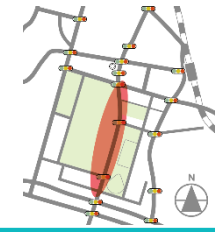
未来に向けて

食事を楽しみながら、発見のあるみちへ →P.28

赤文字: 強み  
青文字: 弱み



# 【シンボルロード】現況分析



- ・周辺の緑地も含めて心地良い自然環境が広がる空間。
- ・散歩やジョギングなどを行う日常的な通過動線としてだけでなく、自然の中での体験・活動が可能な滞在空間に成り得る。

①

②

③

④

⑤

⑥

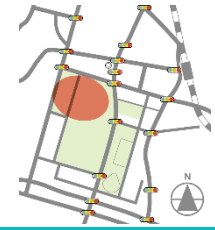
赤文字: 強み  
青文字: 弱み

- ・心地よい緑陰空間
  - ・木々の下で滞留できる場所が点在している
  - ・平日も散歩やジョギング、親子連れ等で賑わう
  - ・図書館や公民館など、多くの公共施設が隣接している
  - ・巨木の連なる森の景観と都市的な空間が融合している
  - ・運動目的にも活用できる広い歩行空間やオープンスペースがある
- ・歩道と車道が完全に分離されており、安全で快適に歩けるウォークアブル空間となっている
  - ・自転車と人が余裕をもってすれ違いできる幅員を確保している
  - ・歩道がバリアフリー化されている
  - ・まちの中心に片側30m幅の緑の歩道は珍しく、アイデンティティと成り得る
  - ・ベンチが多く、気軽に休める空間が多くある
  - ・図書館からケヤキ並木が続いており、シンボルロードへ人を誘う
  - ・緑とまちなかの魅力向上構想において、回遊ルートが設定されている
  - ・朝霞中央公園への横断がしにくい
  - ・花壇など花を楽しめるものが少ない
  - ・インフラ設備(トイレやイベントで使う電源等)が不足している
- ・車道も含めて、イベントができる空間が整備されており、ストリートテラス、冬のあかりテラス、彩夏祭等のイベントで賑わう
  - ・広場空間の様々な活用により居心地の良いまちの中心空間となることが期待される
  - ・イベントなどの使い方のルールが不明
  - ・十分な有効活用がされていない

未来に向けて

まちの象徴となり、五感で感じるみどりのみちへ →P.30

## 【基地跡地周辺（青葉台公園・あさかの森）】現況分析



- 様々なイベントや活動で日常的に盛り上がりのある空間。
- 賑わいを公園外にも広げ、街中の様々な場所での活動の展開が期待できる。



- 広場の様々な利用方法を、利用者が展開している
- あさかの森はプレーパークなどの様々なアクティビティを中心に、子供や親子連れなどの利用が比較的多い
- 青葉台公園は健康遊具やテニスコートラジ体操などを楽しみ高齢者など多様な世代に利用されている



- 空間すべてが遊びや学習の場として活用される
- 青葉台公園は大型遊具や噴水などの親水施設がたくさん設置されている
- あさかの森は構造物が少ないことで多様な遊びができる広いオープンスペースがある。また、親の目が届くので親も子どもも安心して利用できる
- 敷地内に緑が多く心地よい
- あさかの森は国有地の暫定利用のため構造物が少なく、トイレや水道、自動販売機などが不足している
- あさかの森は照明設備がないため、日中の利用に限定されてしまう



- 他の公園ではできない体験ができる
- プレーパーク(冒険遊び場)として活用されている
- 子どもたちが楽しく遊べるプレイランドとして、cocoiraoba(ココイロアオバ)などの様々なイベントが開催されている
- 「憩いと交流の拠点」の形成を目標として、都市計画法上の地区計画が定められている
- あさかの森は営利目的での利用ができないので、イベントの種類も限られている
- 朝霞の森を含む基地跡地公園への整備が進んでいない

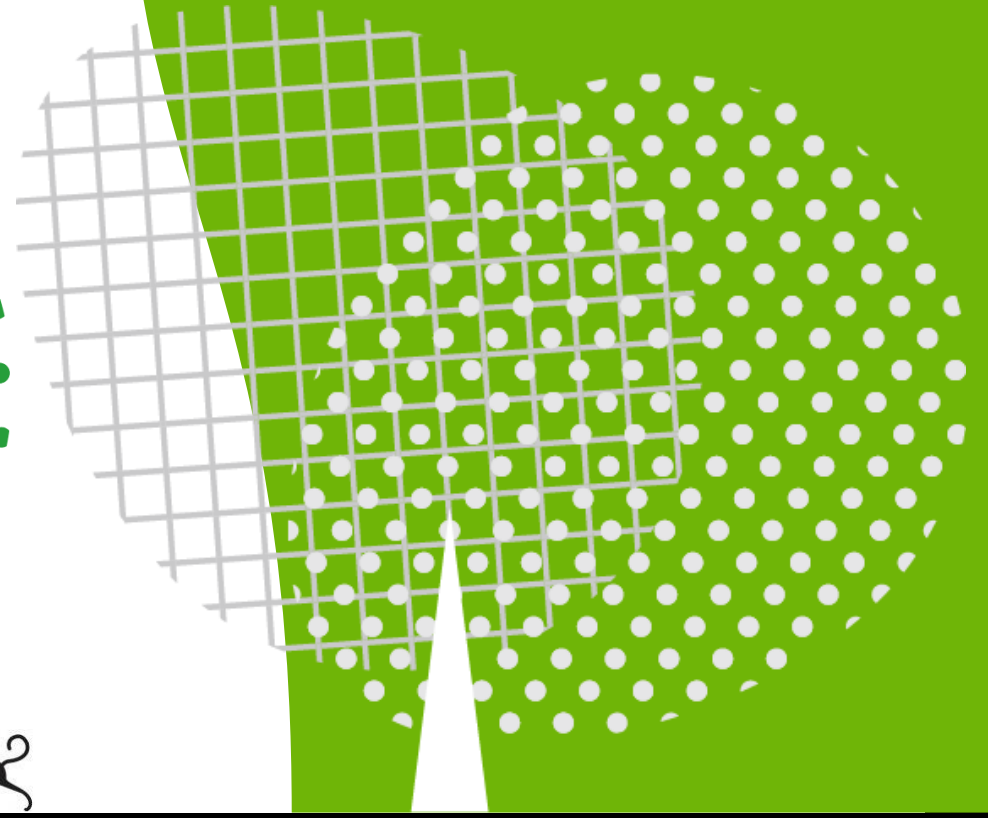
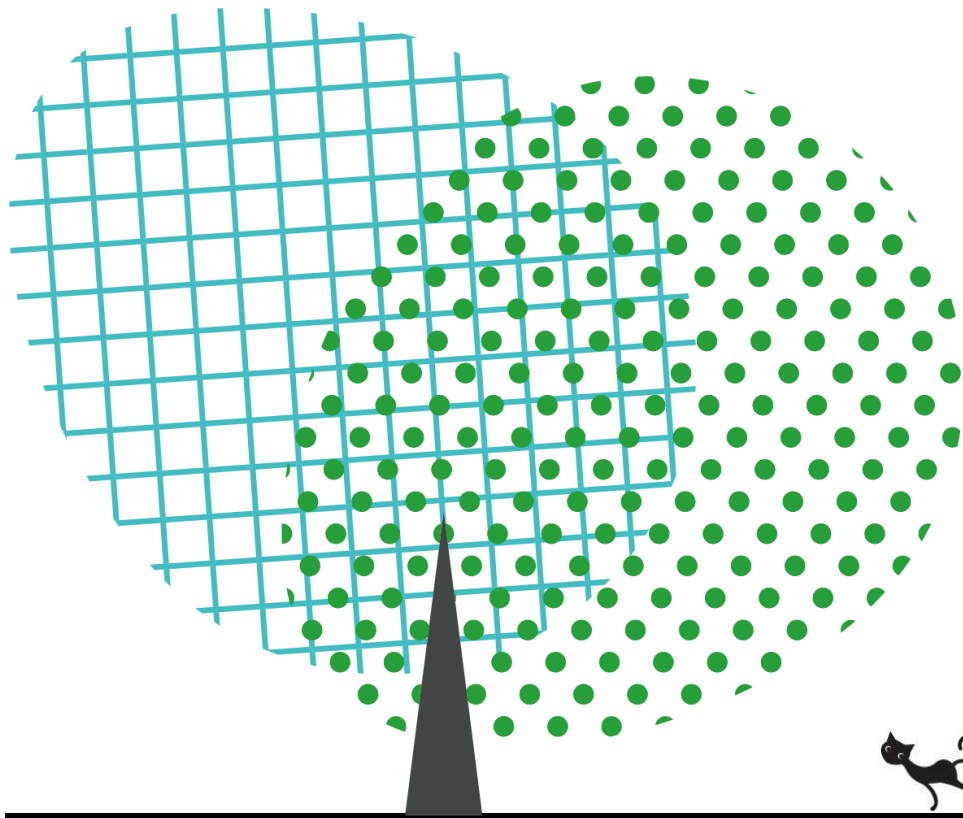
未来に向けて

遊びや学びがある空間へ →P.33

赤文字:強み  
青文字:弱み



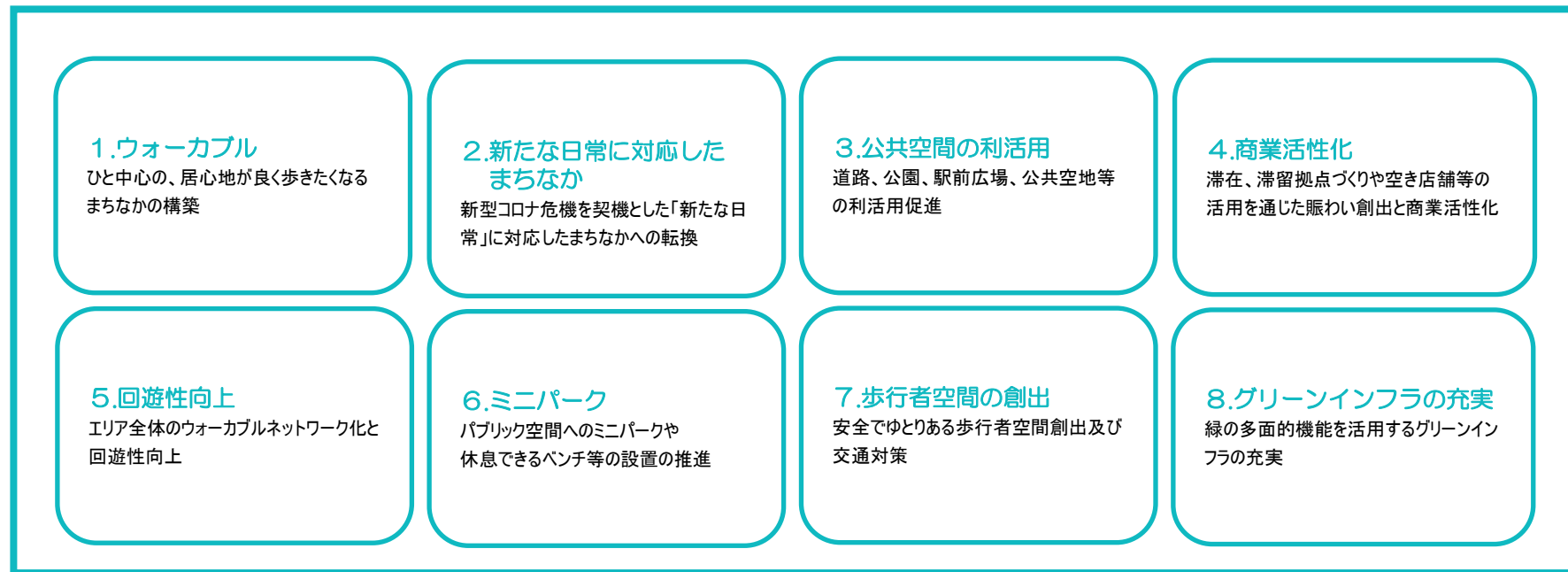
### 03 エリアの目指す将来像



# 目指す将来像に向けた 8つの観点との連携

対象地の課題や、各エリアの分析を基に、あさかエリアデザイン会議では8つの観点からまちの将来像を検討します。

## エリアビジョン



### 緑とまちなかの魅力向上構想

朝霞市において魅力あるまちなかづくりを実現するため、公園・緑地や道の空間の魅力向上方策について、具体的な検討を行うもの。  
公園緑地や道路空間などまちなかの屋外空間が市民の健康で快適な暮らしの基礎として一層の機能を発揮するよう、まちなかで歩く・休憩する・景色を  
楽しむといった様々なシーンを想定し、屋外空間の快適性の向上を実現する工夫のモデル的な実現を目指します。

緑とまちなかの魅力向上構想と連携して未来ビジョンを描くことで、快適な屋外空間の実現へ繋がる。

また、エリアプラットフォームの計画地エリアをモデル地区として、朝霞市全域へ魅力あるまちづくりを広げる。



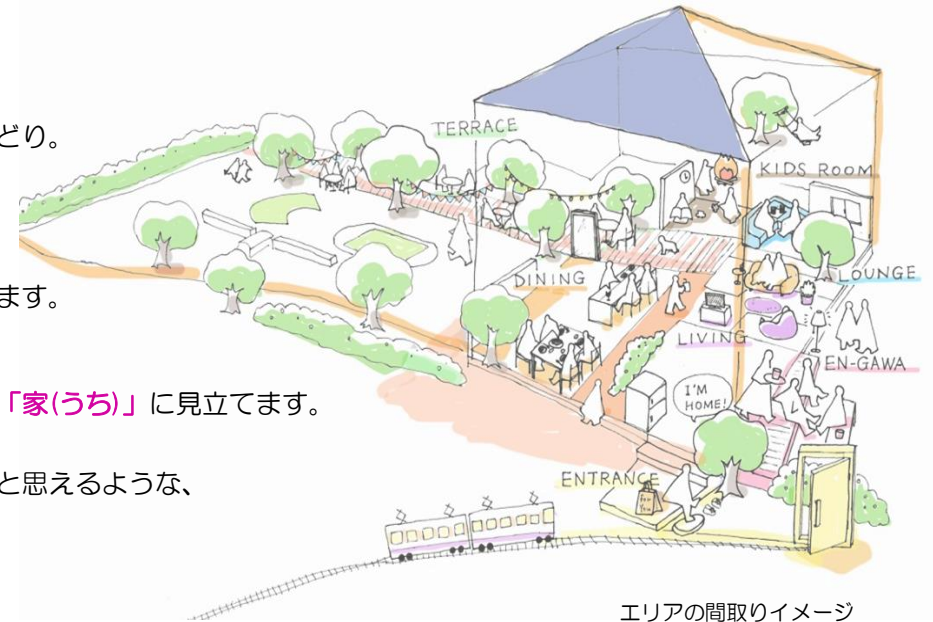
## 【エリアビジョンのコンセプト】

### “マイホーム” あさか” ~みんなが帰りたくなるまち~

駅前から商店街の賑わいを抜け、まちなかに進んでいくと、その先に広がる武蔵野のみどり。住宅街と商店街、シンボルとなるみどりが程良く肩を並べているまち、朝霞。そんな朝霞のまちで、住んでいる人も訪れる人も、誰もが『居心地が良く、歩きたくなるまち』、『人でにぎわう魅力的な商業エリア』の創出を目指して、朝霞だからこそ実現できる朝霞ならではの未来（=未来ビジョン）を皆さんと共に描きます。

#### 『まち=家』

みんながそれぞれのお気に入りの場所を見つけられるように、朝霞のまちをひとつの「家(うち)」に見立てます。家は玄関や居間、応接間など様々な役割と機能を持った空間で出来ています。それぞれの空間の特性に合わせた「まちの間取り」を決め、まちなかが自分の「家」と思えるような、まるで自分の「家」にいるような感覚になる。そんな居心地の良い「**おうちのようなまち**」をつくります。



エリアの間取りイメージ

## 【エリアビジョンのキーワード】

優しい気持ちが溢れるまちづくりが未永く続いていくように。朝霞市の名称である「あさか」から、エリアビジョンのコンセプトのイメージとして3つのキーワードを抽出しました。

あさか → ASAKA → **A** **S** **A** **K** **A**  
 Amenity Sustainable And Kindness



四季折々の花と緑の景色。太陽の光や頬をなでる風。武蔵野の豊かな自然環境がまちなかに溢れ、心地よい自然の揺らぎが日々の暮らしを潤してくれる未来を描きます。



過去から今。今から未来へ。活気に満ちた人々の営みが、まちに愛着と誇りを生み、地域・まち・未来を形作っていきます。



思いやりを育むまちでありたい。武蔵野の多様な自然に恵まれた朝霞だからこそ、多様な価値観を受け止め、温かな優しさに包まれて、のびのびと交流できる未来を描きます。



# 【マイホーム “あさか”】ゾーニングイメージ



## 『まち=家』

みんながそれぞれのお気に入りの場所を見つけられるよう、朝霞のまちをひとつの『家（うち）』に見立てました。  
 家には、居間や応接間など、様々な役割と機能をもった部屋が必要です。  
 空間の特性に合わせて“まちの間取り”を決め、まちなかが自分の家と思えるような、まるで自分の家にいるような感覚になる、そんな居心地の良い『おうちのようなまち』を思い描きました。

## 6 シンボルロード

### 【Terrace テラス】

まちの象徴となり、五感で感じるみどりのみちへ



## 7 基地跡地周辺（青葉台公園・あさかの森）

### 【Garden 庭】【KidsRoom 子供部屋】

遊びながら学ぶ空間へ



## 1 朝霞駅南口駅前広場

### 【Entrance 玄関】

人びとを出迎え、送り出す  
おもてなしの玄関口



## 2 朝霞駅南口駅前通り 及び周辺道路

### 【EN-GAWA 縁側】

交通を整理し、歩く人を  
大切にすみちへ



## 3 駅西口富士見通線

### 【Living 居間】

ゆとりの空間を活かして  
特色あるみちへ



## 4 市役所前広場

### 【花の池テラス】

まちの顔として、朝霞の  
未来を象徴する広場へ



## 5 市道 1000 号線

### 【Dining 食堂】

食事を楽しみながら、  
発見のあるみちへ



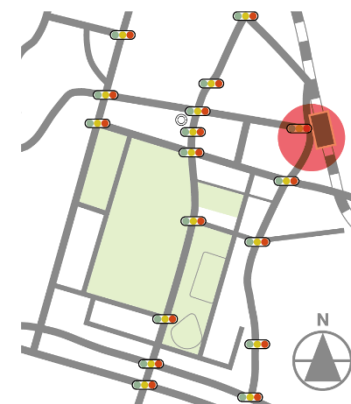


# 1 朝霞駅南口駅前広場【Entrance 玄関】

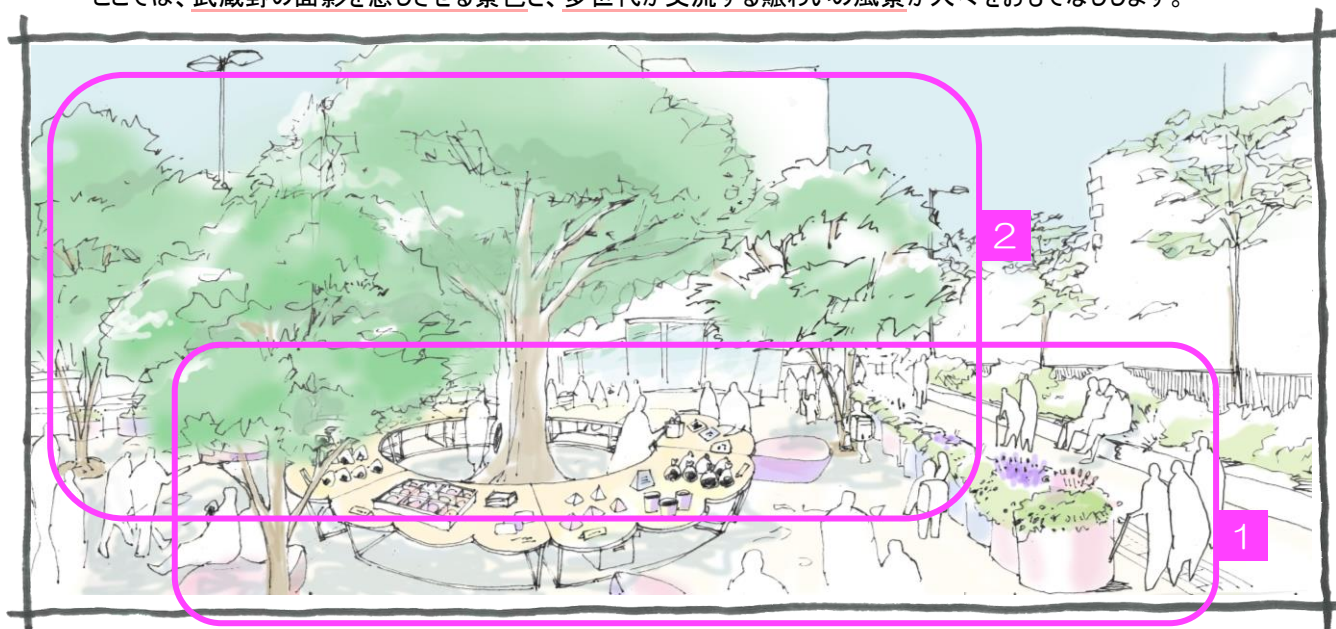
## 人びとを出迎え、送り出す、おもてなしの玄関口へ

電車を降りて改札を抜け、エスカレーターを降りると目の前に広がるまちの『玄関』。

ここでは、武蔵野の面影を感じさせる景色と、多世代が交流する賑わいの風景が人々をおもてなしします。



日常的な朝霞駅南口駅前広場の様子



- 1 広場の有効活用  
ファニチャーやサインの設置により、利用方法の多様化を図る
- 2 樹木による日陰の創出

### 空間イメージ 広場を活用した日常の憩いの場

- ・ 朝霞の顔となる賑わいのある玄関口
- ・ 安心と心地よい滞留ができる人々の交流エリア
- ・ 人と車両の安全が確保されたエリア
- ・ イベント等を開催するにぎわい創出エリア

### 取り組みの方向性

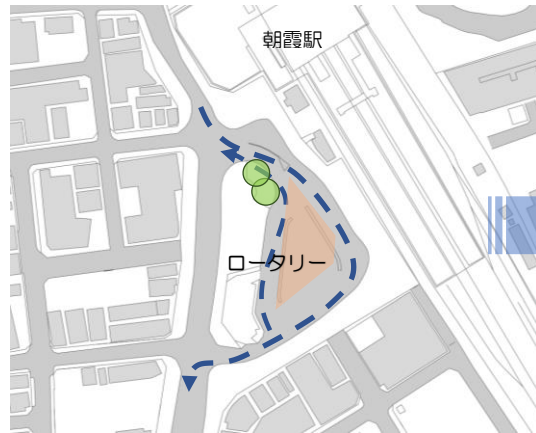
- ◆ 公共空間を活用し、人々が日常的、非日常的に利用できる空間を形成する。
- ◆ 滞留空間として整備し、ファニチャーや日除け・サインを設置することで、見通しの利く安心・安全な空間を形成する。
- ◆ キッチンカーの出店やイベントの開催等によりにぎわい創出を形成する。

### イメージ

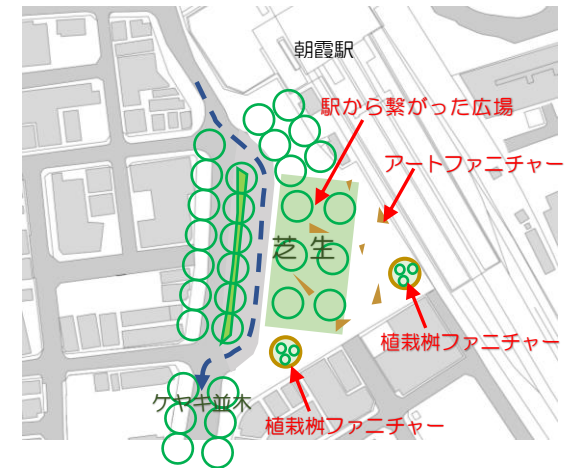


# 【未来のイメージ】

現況



未来



- 1: 広場の拡大  
イベント利用、交流、憩いの場として十分な広さを確保。
- 2: 広場への横断をしやすい  
広場に寄ろうと思える、求心力のある空間作りや、駅からの繋がりを  
感じさせる植栽・舗装のデザインの検討。
- 3: 緑量を増やす  
緑陰や、芝生広場、シンボルロードを想わせるケヤキ並木等、むさし  
のフロントのおもてなしをする。
- 4: 低未利用地の活用方法の検討。
- 5: 駅前空間全体を整備  
現状の駅前広場とロータリーの位置を入れ替え、快適な広場空間  
を創出。



マルシェ等の広場活用



芝生広場にはデザイン性の高いファニチャーを設置し、憩いの場を創出する。



低未利用地の活用



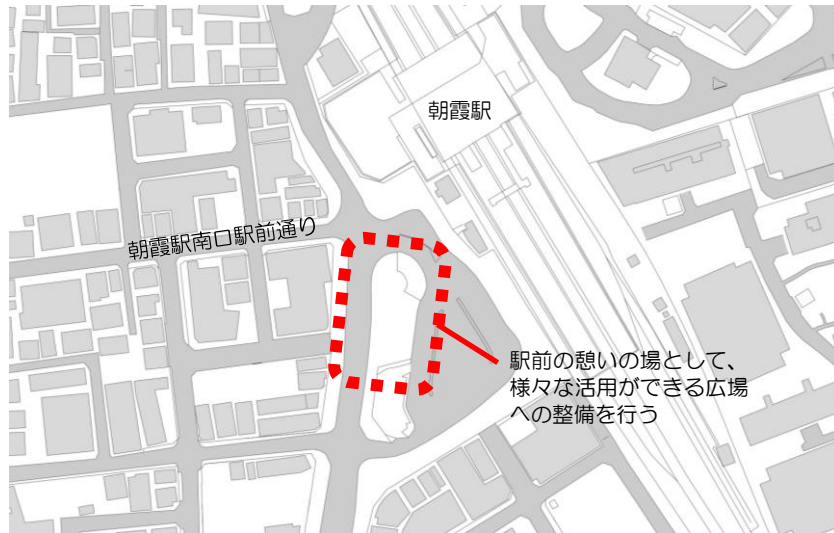
緑陰や並木道



市道7号線の並木と連動して、広場にも樹木を植栽。緑陰により、心地良い広場空間となる。



## 【活用イメージ】



舗装で閑散としている駅前広場に樹木やファニチャー等を設置。  
朝霞ならではのメニューを組み込むことで、駅利用者が身近なところで朝霞の魅力に触れることができる。  
車両と歩行者との安全面・利便性を考慮し、広場と車道の両方向からの整備を検討する。



植栽と一体となったファニチャーを設置。  
周りを樹木に囲まれ、落ち着けるおしゃれな広場。  
リモートワークや待ち合わせ場所にも活用される。



広場を活用したアスレチックや足湯の設置。  
こどもの遊び空間と、見守る大人達の寛ぎの空間を一緒に楽しむ。



にんじん畑や、それらを使った店舗の展開。  
芝生広場を設置し、寛ぎの空間として活用する。